

保育所に通う児童の家庭における食生活等と 子どもへの食育の実態

本田真美 (初等教育学科)

A survey of the Nursery School Children, Food Education and Child Eating Habits in the Home

Mami HONDA (Department of Elementary Education)

抄 録

保育所における効果的な食育をするための基礎資料を得ることを目的に、保育所に通う児童の家庭における食生活等と子どもへの食育に関する質問紙調査を実施した。その結果、食欲にむらがある、好き嫌いなど乳幼児期の食べ方の特徴が、保護者の子どもの食事に関する困り事としてあげられた。また、保護者の保育所への食育に関する要望では、食事を楽しむこと、匂を感じる食事、食事を通して伝統行事を知ることが上位にあげられた。以上の結果から、乳幼児期の発達をふまえた食べ方の情報提供のあり方とともに、保育所の特徴を活かした食育のあり方の検討が課題であることが示唆された。

キーワード：保育所 家庭 食育 保護者 子ども

I 目的

平成20年の保育所保育指針の改定以降、入所する児童の保護者と地域における保護者に対する子育て支援を行う役割が明示され、家庭における食生活についてもその支援の対象となった。保育所は年間カリキュラムに則った食育が職種相互の連携関係とともに実践されている。しかし、家庭における子どもの食生活等や保護者の子どもへの食育についての実態は十分把握されておらず、保護者との問題意識の共有には課題が残されている。

そこで、家庭における子どもの食生活等と子どもへの食育の実態を把握することで、保育所における効果的な食育をするための基礎資料を得ることを目的とした。

II 方法

1. 調査対象

岡山市保育協議会第3ブロックの保育所（全12園）の平成24年11月在籍児童とその保護者1,834名を調査対象とした。